

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		衛生プラント整備事業			
事業の概要		<p>核家族化や共働きなどによる留守家庭の増加に伴い、汲取り手数料の徴収方法について、住民ニーズに対応した口座振替制度を導入する。また、し尿の衛生的かつ円滑な収集・運搬のため、老朽化した車両について更新するものである。本事業により住民の利便性の向上と、地域住民の快適な生活環境の維持が図られる。</p> <p><口座振替制度導入事業> し尿処理受付管理システムに口座振替業務機能ソフトの追加、収集通知書発行端末機(ハンディターミナル)のソフト開発、ハンディターミナル購入(5台)</p> <p><し尿収集車購入事業> し尿収集車購入(1台)、し尿収集計量器移設(廃車車両→購入車両)</p>			
		事業期間	平成20年度		
		総事業費	9,808	本年度事業費	9,808
事業評価	事業の必要性	近年、核家族化や共働きなどによる留守家庭が増加し、多くの住民から口座振替の要望があがっている。また、今回更新するし尿収集車は、平成14年に購入して以来7年が経過し、老朽化が著しく早急に更新する必要がある。			
	事業の有効性	汲取り手数料の徴収は、収集時に職員が直接集金することを基本としてきたが、口座振替制度を導入することにより、収集時の作業員の作業能率の向上、事務の簡素化につながり、円滑で効率的な運営に資するものである。			
	事業の効率性	し尿収集車は住環境を害することなく、衛生的に町内のし尿を収集するために必要不可欠なものである。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果 口座振替制度を導入することにより、住民に汲取り手数料の支払方法の選択肢を広げ、利便性の向上が図られる。			
		3 リーディング・モデル成果 地域住民の生活環境の改善や河川等の水質保全を実現していくためには、下水道等の促進とともにし尿処理の充実が必要となっており、本事業を実施することにより、地域住民の快適な生活環境の維持が図られる。			
4 広域的波及成果 し尿収集車については、CO2排出削減のため、全車でBDF燃料を使用している。					
5 行財政改革に資する成果 当町が所有している6台のし尿収集車は、原則として新車購入後約6年使用した後計画的に更新するものである。また、ハンディターミナルによる端末処理システムを開発することで事務の簡素化が図られる。					
		6 その他の成果			

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。